



西郷どんと垂水

連載第4回目は、牛根地区と西郷どんとのゆかりについてご紹介。

明治10（1877）年、日本国内最後の内戦といわれる西南戦争は、西郷隆盛を中心とした士族（旧武士）と政府軍の間で、現在の大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県において戦いが繰り広げられました。垂水市の牛根でも争いがあり、現在の鹿屋市の高須に上陸した政府軍の一部は、新城、垂水、牛根二川に進み、その後、百引にも到達しました。西郷軍は2つの隊からなる大斥候隊（偵察隊）を牛根へ派兵しました。二川で政府軍と衝突しましたが、勝負はつかず、現在の曾於市の恒吉に引き上げました。その後、西郷軍は中島隊、貴島隊の全力をあげ百引に向かい、政府軍の不意をついて有利に戦いを進め、この結果政府軍はやむなく二川へ退いたと云われています。

西南戦争と牛根

招魂墓

牛根二川の西宝寺隣には、牛根村から西南戦争で戦死した方々を弔うための招魂墓があります。これは初代牛根邑戸長の酒匂竜五郎により建立されたもので、正確な建立年月日は分かっていませんが、戦死者4名、生存者47名、計51名の従軍者の方がいたと記録されています。

伝えられる当時の様子

牛根の烏帽子岳に西郷軍、上ノ原岳に政府軍が陣を取り、両軍が撃ち合いになりました。このとき多数の死傷者があり、二川有誠という人の自宅が野戦病院に使用され、両軍の兵士を治療したと云われています。烏帽子岳周辺では、現在も当時のものと思われる弾丸が出土すると云われています。



西郷ウェブサイト

鹿児島県では、大河ドラマ「西郷どん」キャンペーン公式ウェブサイトを開設しています。



QR 県 HP へ移行します▲



イベント情報

鹿児島県内のいろいろなところで行われる西郷どん関連のイベント情報をご紹介します。



QR 県 HP へ移行します▲



「西郷隆盛と垂水」

垂水市教育委員会では、西郷隆盛と垂水の関わりについてガイドブックを発行しています。



QR 市 HP へ移行します▲

明治維新 150 周年企画 垂水維新ツアー第4弾開催！



12月3日（日）、垂水維新ツアーが開催され、52名が参加しました。これは、明治維新150周年に向け、垂水の歴史にスポットを当て、文化や食、風景等を体感してもらうことを目的としたものです。今回は「維新の志士が愛した垂水の食卓」として、文行館で歴史の紹介と粟ぜんざいの振る舞いや、大野原いきいき祭りと垂水千本イチョウ散策でこの時期の垂水を感じていただきました。また、垂水ベイサイドホテルアザレアでの垂水の食材を豊富に使ったランチバイキングもあり、大満足の内容となりました。

第8回大野原（うのばい） いきいき祭り開催！



12月3日（日）、第8回大野原（うのばい）いきいき祭りが大野地区公民館別館（旧大野小中学校）で開催されました。当日は約1,700人の方が来場し、この日が解禁日となる大野原地区特産の「つらさげ芋」の販売や先着100名に無料配布される豚汁が振舞われ、開場時間の午前9時には長い列ができていました。また、会場ではクリスマスリース作り体験などの親子で楽しめるイベントも行われ、多くの方で賑わいました。当日は天候にも恵まれ、大野原地区が活気に溢れる一日となりました。

12月10日（日）、第6回水之上生活笑楽校が水之上地区公民館で開催されました。これは、水之上地区でまちづくりを推進する「三和づくり計画」に基づく取組として実施されるもので、同地区住民同士の交流を深める機会として行われています。当日は約40人の参加者が手打ちそばや猪肉のシチューなどの手料理を持ち寄って楽しく会食が行われました。「食べる・飲む・語る」をテーマに、水之上地区への思いや今後を語り、賑やかな会となりました。



料理を持ち寄り交流 水之上生活笑楽校